

東

京オートサロンでアワードイ
A7に装着し初披露された
グノール系CVX/CDV。ここ大
阪オートメッセでは、マセラティ・
クアトロポルテに装着しての出展
となった。CVシリーズが、欧州車を
意識したデザインコンセプトであ
るため、この新作の種類もそれを踏
襲。しかし、欧州車だけに採用する
のは惜しいほどの完成度。CVXの
繊細だが躍動感ある曲線美とディ
ープコンケイブや、CDVの独創的
でアグレッシブなファイニッシュデザ
インは、国産セダンの新たな潮流に
もハマること間違いなし。

また、東京でお披露目されたハッ
クレール、ジェル、ジースト、BST/BS
ST2も、様々なカラーラインナッ
プを展示。ホイールドレスアップの
次世代の方向性を牽引する同社に、
来場者の注目が集まっていた。



フルリバーシブルを採用したことで、ディスク面が大口径化。このリフトを活かして、大膽なデザインを採用。



今までのグノ
ールは撥りたっ
たが、バックレ
ーベルはフルリ
バーシブル採用。
これにより各車
種も対応した。



標準にはない仕上げ色の組み合わせを、
標準以上のバリエーションも、フロントホウカ
ークリアを施すなど、独特の質感が特徴。



静止時でも動きを感じさせる立
体的な造形が特徴。ミドルコン
ケープとディープの2種類あり。

国産セダンにもマッチする、ユーロの佇まい